

会社概要

会社名	リョーサン株式会社
代表者	代表取締役 大橋 勝
設立年月日	昭和47年7月
所在地	●本社・工場 〒712-8044 岡山県倉敷市東塚7-5-19 TEL 086-456-5663 FAX 086-456-5691 ●三菱化学構内水島事業所 〒712-8052 岡山県倉敷市松江4-9-1 TEL 086-456-0565 FAX 086-456-0579 ●鹿島営業所 〒314-0102 茨城県神栖市東和田21-4 TEL 0299-90-5411 FAX 0299-90-5412
資本金	1500万円
主要取引先	三菱化学エンジニアリング(株)九州、中国、四国、四日市、鹿島各事業所／ エムイーシーテクノ(株)／三菱重工(株)横浜製作所／ 三菱マテリアルテクノ(株)／千代田工商(株)／ 信越化学エンジニアリング(株)／旭硝子エンジニアリング(株)／ 大陽日酸(株)／(株)ピーエス三菱広島支店／戸田建設(株)広島支店／ ペガサスキャンドル(株)／日本サーモケミカル(株)／ 旭タウ化工(株)／新興プランテック(株)／三島興産(株)／ 鹿島共同施設(株)／アデカ総合設備(株)／ 日曹エンジニアリング(株)／(株)双葉製作所／ 石川島播磨重工業(株)／(株)エルテックス／ニチソウテック(株)／ 富士タイス(株)／プリジストンプラントエンジニアリング(株)／ ほか〔順不同・敬称略〕

沿革

昭和47年7月	菱産工業有限会社として創業
昭和50年7月	資本金を300万円に増資
昭和55年4月	東塚製缶工場新設
昭和58年7月	資本金を1500万円に増資
平成3年2月	本社事務所新設
平成4年2月	リョーサン株式会社に社名を変更
平成6年4月	水島港玉島E地区に玉島工場建設
平成9年10月	鹿島営業所開設
平成14年2月	坂出出張所を開設
平成17年	人材派遣業免許取得
平成22年	東塚資材置場新設

営業種目

- 各種プラント建設工事
- 各種機器製作・配管・製缶工事
- 機械・機器据付工事
- 重量物運搬据付工事
- 産業用機械、回転機オーバーホール
- 各種バルブ、計装機械オーバーホール
- 熱交換器製作、リチューピング工事
- 各種洗浄工事

主要設備

- 1基 200tプレス(井上鉄工)
- 1基 100t精密プレス(アマダ製RG80)
- 1基 ギャップシャーリング
(切断能力／長さ3100、厚さ10mm)
- 1基 ベンディングローラー
- 1基 旋盤
- 1基 ラジアルボール盤
- 1基 クリーンカッター(25φ×20mm)
- 1基 バンドソー(アマダ製[幅400×高さ400])
- 1台 スクリューコンプレッサー
(HA-400三井精機Z156A)
- 1台 天井走行クレーン(2t)
- 1式 酸洗設備



リョーサン株式会社



【本社・工場】
〒712-8044 岡山県倉敷市東塚7-5-19
TEL 086-456-5663 FAX 086-456-5691



【三菱化学構内水島事業所】
〒712-8052 岡山県倉敷市松江4-9-1
TEL 086-456-0565 FAX 086-456-0579



【鹿島営業所】
〒314-0102 茨城県神栖市東和田21-4
TEL 0299-90-5411 FAX 0299-90-5412

Company Profile

Dream Catch Company



リョーサン株式会社



技術力と人材力で、 夢をこの“手”に。

リョーサンは、
「Special Hands」＝「高い技術を支える手」
を持った人を育て、その手で
新しい未来を切り拓いていく会社です。

いくつもの大型機械設備や装置が有機的に連結されて、
構成されているプラント群。

リョーサンは、まさにこのプラントメンテナンスのスペシャリストとして、
水島コンビナートを抱える岡山県倉敷市を拠点に、
各種プラントの建設、メンテナンスの専門企業として歩んできました。
確かな技術とノウハウ、鉄鋼・石油化学分野はもちろん、
様々な産業分野で残した数多くの実績と信頼をもとに、
時代のニーズにマッチした新たな挑戦を続けていきます。

Special Hands Vol.03

鉄工部門

中西 昌之
Masayuki Nakanishi

作業の中心は、
“手”と“手”を
つなぐチームワーク。

プラント設備を構成する様々なパイプラインの新設、補修といった仕事に日々取り組んでいます。例えば新設の場合、まず当社の工場で図面を見て、ある程度パイプラインを作ってから大型車輛で施設場所まで運び、時には数十メートルの高さまで吊り上げた後に、上部で繋いで組み上げていくこともあります。完成すれば数百メートル、数千メートルにもおよぶパイプラインとなります。超ビッグスケールでありながら、繊細なセッティングや管理が必要になるという二面性を持った技術分野です。それだけにやりがいもあり、仕事がスムーズに運んだ時は大きな達成感があります。

どんな難しい仕事であっても基本が大事である事には変わりなく、作業の中心となるのは、私たち自身の“手”であり、手と手をつなぐチームワーク。仲間がいるから頑張れる。みんなで一緒に一つのことをこの“手”で作り上げていく楽しさはまた格別ですよ。



すべてを管理統括する“手”に成長の跡をみる。

プラントメンテナンスのプロジェクトリーダーとして、現場の技術者に的確な指示を出し、プロジェクトのスムーズな進行を管理するのが私の仕事です。現場に入ってからどういう状況か、お客様の要望は何か、工期、見積りは…すべてを管理統括します。大型プラントになれば、構成されている機械や設備も半端な数ではありません。メンテナンスに関わる技術者が他の協力会社も含めて100人を超えることだってある世界。その中で自ら先頭に立って陣頭指揮を執り行うこの仕事は、やりがいも桁違いだと感じています。

机上の計画だけでなく、現場で臨機応変に対応できる技術力も必要になる為、日々いろいろと鍛えられ、私の“手”にも筋肉がついてきたと思います。仕事を通じて、自分の父親ほど歳の離れた技術者とも信頼関係や一体感を築くことができ、人間的にも大きく成長できる仕事だと感じています。

管理技術者

寄本 満帆
Mitsuno Yorimoto



Special Hands Vol.05

静機器部門

山田 浩貴
Hiroaki Yamada

入社して10年程過ぎ、現場のリーダーを任されるようになって、仕事の状況がその場、その場で違うので、なかなか慣れるということがありません。その分、常に学ぶことができ成長することができる、やりがいのある職場だと思います。

リーダーは常にみんながケガをしないように細心の注意を払い、危険予知をします。同時に現場のルールを遵守し、仕事がスムーズに運ぶように段取りをしています。これも現場を経験しながら、先輩にも指導していただいて身に付いたことです。そして現場ではお客様だけでなく、他企業の方とも一緒に仕事をするところもあるので、当社では明るくいろんな人と交流できる、前向きなスタッフが多いと感じています。

まだまだ学ぶべきことばかりです。これからも常にチャレンジし続ける姿勢を保ち、新たな仕事を覚え、どんな現場に行っても通用するような“手”技を身につけたいと思っています。

どんな現場でも通用する
“手”技を身につけて。



Special Hands Vol.06

静機器部門

星島 浩吉
Yoshinori Hoshijima

地道な“手”作業の
積み重ねが
巨大なプラントを動かす。

配管を外してガスケットの交換をしたり、ボイラーやチューブの掃除、熱交換器の開放点検など、設置・点検・解体・復旧・洗浄といった、回転機部門や鉄工部門が取り扱う以外のありとあらゆる作業を担当しています。

私は道具の名前一つ知らないで中途入社したのですが、一つひとつ教えてもらって仕事を覚え、今ではどんな巨大なプラントであっても大丈夫です。正常な運転の基本となるのは、一つひとつの機械設備を外し、メンテナンスを行い復旧するという、地道な一連の作業なのです。そんな作業の中で、要となる大切な仕事を支えるのは、やはり一つひとつの小さな“手”作業なのです。

そうはいっても、私たちの仕事はラインでの流れ作業ではありません。地道な手作業の中にあっても毎日新しい発見があるので、まだまだ勉強の日々です。



回転機部門

岩崎
義昌
Yoshimasa
Iwasaki

どんな精密機械も職人の熟練した “手”にはかなわない。

モーターやベアリング、ポンプ、コンプレッサーといった、動力で回転する物、ありとあらゆる回転機の修理やオーバーホールなどを手掛けています。入社して20年以上になりますが、当社では多種多様な機械のメンテナンスを行っているので、何年経っても初めて見る機械設備等があります。それだけ新鮮味があり、新たな発見もある為、毎日に変化に富んだやりがいのある職場です。

回転機は、100分の3～5ミリの違いで不具合が出るものです。いつもは、100分の1ミリを計測できるマイクロメーターという工具を使用し、不具合を調べるのですが、ここぞという時には長年の勘というのか、回転機の温度や振動を自分の“手”で触って不具合を確かめています。やはり、どんな精密な工具も熟練した職人の“手”にはかないません。こういうところがこの仕事の醍醐味ではないでしょうか。



Special Hands Vol.01



現場の作業も業界も “手”元を見て先をよむ。



回転機部門

宮本
章志
Syoji
Miyamoto

全くこの業界のことは知りませんでしたが、“手”に職がつくというアドバイスを受け、思い切って中途入社しました。工具に触ったことすらない素人でしたが、先輩や上司の方々が、まさに“手”取り足取り、とても根気強く丁寧に指導してくれました。そのおかげで工具を扱うときの“手”の力の入れ加減もわかってきて、同時に作業に必要な様々な資格も取得させて貰いました。そうしたことから、今思うと本当にこの仕事に就いて良かったと感じています。

工具を扱うとき“手”元だけを見ていたら危ないことがあります。我々社員も同じことが言えます。手元だけを見るのではなく、時代の先を見て未来を切り拓いていく必要があります。この業界も将来、海外へもどんどん進出していくでしょう。来たるべき時代に備えて、技術だけでなく語学力も磨きたい。そんな夢を持って働いています。



Special Hands Vol.02

新たな事業分野の開拓を視野に、 確かな技術力で発展を続ける



代表取締役社長 大橋 勝

Dream
Catch
Company

当社は、プラント設備の建設からメンテナンスまでを幅広く行うエンジニアリング企業として、今日まで歩んで参りました。また単なるメンテナンスという枠にとどまらず、お客様の設備マネジメントをトータルにサポートする企業として高い評価をいただいております。

このような実績と信頼を支えるのは、長年の経験とノウハウにより培った技術力です。当社では技術力＝人材力という考えのもとで、高度な専門技術を有する技術者の育成に積極的に取り組んでいます。

「Special Hands」＝「高い技術を支える手」を持った少数精鋭のスペシャリスト集団として、今後新たな事業分野の開拓も視野に入れながら、確かな技術力を強みとして、未来への可能性を切り拓いて行きます。



回転機部門



Rolling Machine Section

標準機種から特殊品まで、 卓越したエンジニアリングワーク。

プラント設備機器の回転機は、伝導エネルギーの要であり、休むことなく稼働し続けるプラントの中枢ともいえる働きを担っています。それだけに回転機構部には定期的に入念なメンテナンスが必要になります。

回転機部門では、モーター、コンプレッサー、ポンプ、攪拌機、減速機、各種コンペアー、ルーッブローワー、大型換気扇、蒸気タービン、ガスタービンなど、標準機種から特殊構造機まで幅広く対応。0.01ミリの精度で芯出しを行うなど、卓越したエンジニアリングワークを発揮しています。

また、高い精度が要求される半導体製造装置・メカトロ機器などのデリケートな据付けにもリョーサンの高い技術力が発揮されます。



配管・鋼構造物工事のオールラウンダー。 多彩な管材質にも対応。

プラント設備の血管ともいえる大小様々なパイプライン。鉄工部門は、主にパイプラインの新設・補修を担い、配管・鋼構造物工事のオールラウンダーとして活躍しています。

高圧配管工事に加えて、アルミ、ステンレス、チタン、ハステロイ、インコロイなど、多種多様な材質の管工事にも幅広く対応。配管に付帯した架構・各種ラックなどの構造物の製作・加工・据付工事も行っています。

また、タワー、タンク、サイロ、反応器など、大規模な構造物の補修、メンテナンスも得意としています。これまで直径および高さ15メートル級のサイロ補修などの実績があり、最近では、大規模な産業廃棄物処理施設における特殊機器の補修工事を手掛けるなど、特殊構造物へも対応しています。

鉄工部門



Iron Works Section

静機器部門



Silent Machine Section

各種機械設備の トータルメンテナンス。

静機器部門では、各種機械設備を整備・メンテナンスする上で、それぞれの機械設備の特性に照らし合わせ、最良の方法を選択してメンテナンスを行っています。

配管の解体や復旧、プラントを構成する特殊な機械設備の据付けも行います。特に、プラントを構成する各種機械設備は大型かつ重量物であり、その設置には高度に熟練された技術が必要です。経験豊かな技術者がチームワークを発揮し、作業では極限の精度を追求しています。

プラント設備は、各種の機械設備が秩序を持って連結されたエンジニアリング技術の集大成。それらプラントを構成する特殊な機械設備の据付けからメンテナンスまでトータルに行うことによって、お客様の様々なご要望に柔軟に応えていきます。

